

山香小だより 第 24 号

校 長 小河 正二
発行日 令和3年7月13日(火)

学
校
教
育
目
標

ふるさとを愛し、
自分で考え仲間と協働し、
課題解決に取り組む山香っ子の育成



「若者言葉に耳をすませば」

この本は、山口仲美(なかみ)さん(国語学者)の著書です。私は、ほとんど若者の言葉についていけません
が、話の種として知っておくと意外と役立つ?かもしれません。

「仲間意識を持ちたい」・・・「おぎーす」(おはようございます)「あぎーす」(ありがとうございます)

「かっこよくいきたい」・・・「今日の昼ご飯、CRにしよう。」(CR=カップラーメン)

「感覚的に伝えたい」・・・「えっ、うそ。ずーん。へこむわ。」「ゼミの先生、怒ってたよ。」「たりーん。」

擬態語、擬声語が多いようです。

「言葉で遊びたい」・・・「あの服、いとかわゆす。」(しょこたん語)「明日、海に遊びに行く?」「当たりめーめー
ー、ヤギめーめー」

子どもたちが使っている言葉を「耳をすまして」聞きたいと思います。「めちゃ、おもしろいかもしれません。」



豊後高田市で聖火リレーを走った方、岡野樹里
様からお借りして、「聖火のトーチ」を展示するこ
うができました。「本物ですか?」子どもたちは、興
味津々に見ていました。

山香中、立石小においても展示するようになっ
ています。「希望の光」をありがとうございます!

「今の状況で最も怖いのは、社会性と人間性を台無しにすることだ。」(イタリアでペスト流行時に書か
れた文書から)→「新型コロナパンデミック」の今、同じ過ちをしないようにしなければなりません。



香々地宿泊学習

7月5日(月)、6日(火)4年生と5年生が、1泊2日の宿泊学習を行いました。

活動①「所内オリエンテーリング」、活動②「海水浴」、活動③「プラネタリウム」

活動④「アスレチック」、活動⑤「磯遊び」の5つの活動を計画しました。活動①のみ、途中雨が降ってきて途中中断をしましたが、その他の活動は、存分に行うことができてよかったです。

「香々地」は、別名「海と星のミュージアム」と言われるだけあって、海での活動②と⑤、星の観察③は、とても素晴らしかったです。子どもたちとの合い言葉は「気づき、考え、実行(行動)する」でした。各自の気づきを行動に移す前に、自分の頭で考えるという場面が多くありました。活動の当初は、考えが足りず、よくない行動があったり、答えを先生方にすぐに求めたりすることもありましたが、班での活動、話し合いを重ねる中で、いい考えからいい行動ができるようになってきました。一泊二日で家を離れて過ごしたことで、親への感謝の気持ちも少し芽生えたのではないのでしょうか。

<おわび>学校帰着後、スクールバスの関係ですぐに下校させられず、申し訳ありませんでした。来年度は、スクールバス第1便に間に合うように、2日目のスケジュールを組むように改善したいと思います。



これからの主な学校行事

- 7月20日(火) 一学期終業式 児童の下校 14:40
- 7月26日(月)～7月30日(金) 個人面談週間
- 8月6日(金) 「平和を願う日」の登校日 8時までに登校、11時下校
- 8月22日(日) 保護者によるクリーン活動(草刈と窓ふき) 午前7時～9時
- 8月25日(水) 2学期始業式 児童の下校 13:10

